

おいしいだ

# 議会だより

No. 146

2015/10.25

山形県大石田町ホームページ  
http://www.town.oishida.yamagata.jp



がんばれー！元気に応援  
大石田保育園運動会

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 星川 久

編集／広報常任委員会・〒99-412 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

◆印刷 (株)印刷文化堂

シリーズ

## 笑顔のIターン

次年子地区  
押切 哲也 さん



尾花沢市の市野々出身。  
翔龍会(花笠踊り)元リーダーとして活躍し、維新祭でも豪快な踊りを披露。  
3年前から妻、長男(小6)、次男(小4)、三男(小2)と大石田町の次年子地区に移り住む。



健康な牛は削蹄から

**大石田町へ来たきっかけは**  
実家を離れて生活してみたいと思っていたところ、空き家を紹介していただき、好機と捉え家族で引っ越ししてきました。  
**住んでみてどうですか**  
自然豊かで静かな次年子は魅力的で不便を感じたことはないです。子ども達も元気に自然を満喫しています。同世代の子どもの数が少ないのが寂しそうです。

**お仕事は**  
牛の削蹄師(※)をしています。県内一円はもとより宮城県に出張なども忙しく働いています。  
**今後の抱負は**  
削蹄師が不足しているため、畜産業発展のために若手を育成したいです。

※削蹄師(さくていし)とは  
牛は一般に運動量が少なく、蹄(ひづめ)が伸びすぎるので、定期的に伸びた蹄を切り、形を整える必要があります。その牛の蹄を切るのが牛削蹄師です。

敬遠されがちな広報委員長に手を挙げてまもなく2年、任期最後の議会だよりとなりました。どうやったら町民の皆さんに読んでもらえるかをいつも議論し、楽しい編集会議をモットーにメンバー5人で「酒酔人クラブ」を立ち上げ飲んで口角泡を飛ばした。「とにかく表紙と見開きの2、3ページだ！」ここで引きつけないと捨てる。「写真は表情溢れる子供達を」自分の子や孫が表紙に載ればその家族の永久保存版になるだろう。写真のほとんどは村岡君が担当してくれた。彼のカメラ技術は素晴らしい。若い感覚が鋭い村形君。繊細な指摘が持ち味の遠藤君。文章力、文字の表現が得意な芳賀君。最高のメン

編集後記

バーに恵まれ毎回の編集会議が楽しい。全国県のコンクールでいずれも優秀賞に選ばれた事によって、宮城、秋田、岩手、福島、遠くは首都圏に20分、人口が増え続けて困る埼玉県の戸田市からも研修に来町した。大石田弁で歯に衣着せぬ会話を通じて語り合った事が懐かしい。12月から新しい選良達に引き継ぐ新しい感覚で議会だよりも、議会も、町も、キラリと光る町へ、より活性化する事を望んでやまない。  
(記 小林)

- 広報常任委員会 ■  
委員長 小林 征雄  
副委員長 村形 昌一  
委員 村岡 藤弥  
委員 遠藤 宏司  
委員 芳賀 清

町民交流センター 起工式 ..... P2

平成26年度決算 町民1人あたり85万円を支出 ..... P4

町の考えを問う 4議員が一般質問 ..... P10

追跡 あれはどうなった! ..... P15

シリーズ 笑顔のIターン ..... P16

第3回定例会  
9/2~11